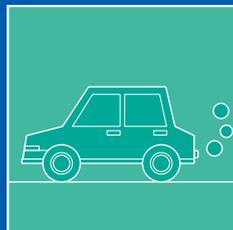
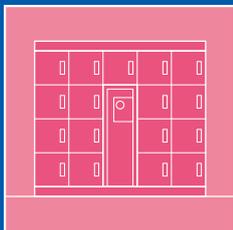




2022年度報告書 株主の皆さまへ

2022年4月1日～2023年3月31日



株式会社 **アルファ**

証券コード：3434

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。以下、当期のご報告等についてご説明いたします。

当期(2022年度)の業績

当連結会計年度における世界経済は、コロナ禍からの回復の動きが見られたものの、ウクライナ情勢の長期化等による原材料・エネルギー価格の高騰、世界的な物価上昇によるインフレの長期化懸念と、これに対する各国中央銀行による金利引き上げ策等が下押し要因となり景気は減速しました。日本経済は、新型コロナウイルス感染対策に係る行動制限の解除を受けて人流が回復する中で、サービス分野を中心に景気が持ち直しました。しかし、夏場以降の新型コロナウイルス感染再拡大や物価上昇、世界経済の減速の影響もあり、緩やかな回復に留まりました。

当社グループの属する自動車産業は、依然として半導体を始めとする部品調達不足による生産調整や、中国でのロックダウン等による減産、原材料価格やエネルギー価格の高止まり等、生産・販売側面で広範な影響が生じています。

また、セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅設備産業におきましては、2022年度の新設住宅着工戸数は上期ではコロナ禍からの回復傾向が続いていたものの、下期からは戸建の注文住宅、分譲住宅を中心に資材高騰の影響を受けて着工数が減少し、前年度比0.6%減少(約5千戸減少)となりました。

ロッカーシステム部門につきましては、夏場のコロナ感染拡大が収束した後は、政府の水際対策緩和と全国旅行支援策により国内観光需要がコロナ前の水準まで回復したことでコインロッカーのオペレーション収益が改善し、さらに人手不足による省人化・効率化へのニーズが高まったことでロッカーへの投資マインドが上がり大型物件の特需へつなげられました。

以上の結果、全体では増収増益となりました。

来期の業績予想

当社グループは、事業環境の不透明な見通しやグローバル競争が激化する中、外部環境に影響されにくい体質強化を優先課題として、新中期経営計画(2023-2026)を策定し基本方針である「新事業・新商品開発」「収益基盤の強化」「サステナビリティ経営の実践」を、国内拠点及び拡充した海外拠点の生産、間接業務の効率化等の諸施策を通じて、引き続き強力で推進してまいります。

株主の皆さまへの配当

当期末の配当金は、1株あたり20円とさせていただきます。これにより当期の年間配当は中間配当10円と合わせて、合計30円となりました。(前期の年間配当は30円)

次期の配当金については、創業100周年の記念配当金10円を加えました年間45円(中間20円、うち10円は記念配当+期末25円)を予定しております。



代表取締役社長 塚野 哲幸

前期比		
売上高:	628億82百万円	17.0%増
営業利益:	6億1百万円	2.4%増

前期比		
売上高:	700億円	11.3%増
営業利益:	20億円	232.8%増

	前期	当期	次期(予想)
配当(年間):	30円	30円	45円

当期(2022年度)の主な取り組み

1 ALPHA HOUSING HARDWARE (THAILAND) CO., LTD. 第5工場を増設

タイのALPHA HOUSING HARDWARE (THAILAND) CO., LTD.では、スマートロック(電気錠)等の生産増加に対応するため、工場を増設し昨年11月に開所式を行いました。

増設した第5工場では、主に日本国内向けの住宅用電気錠、またその前に増設した第4工場の塗装エリアでは、ロボットを使って搬送と塗装を行い、完全無人化を実現しました。また環境に配慮して、VOC排出抑制に対応した循環型設備となっています。



2 セルフベンダーロッカー SDGsへの取り組み

食品ロスを軽減できる有意義な取り組みとして、宮城県の新鮮なホヤ、牡蠣、ホタテ、鮭を使った商品の企画・開発・製造・販売を手掛ける水月堂物産株式会社にセルフベンダーロッカーが採用されました。今回、セルフベンダーを導入することで規格外等の品をお客様に格安で提供できるようになり、SDGsへの取り組みにつながっています。

創業100周年

株主の皆様をはじめ、当社に関わるさまざまな皆さまのおかげで、創業100年を迎えました。創業100年に際し、「アルファ 100年宣言」を制定しました。

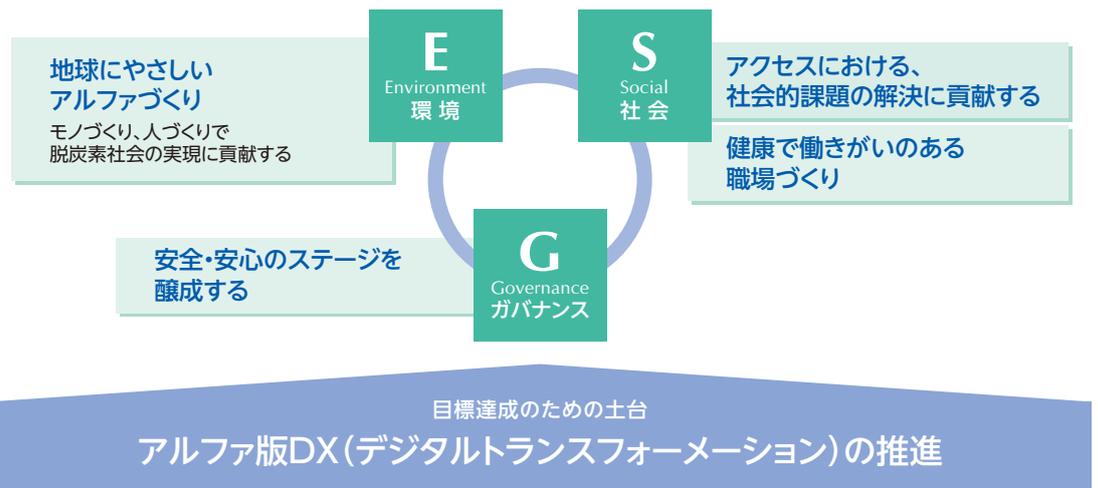


当社は、創業当時からたくさんの安心を生み出し、世界中を人やモノがスムーズに循環するようになってきました。100年目という節目を迎えるにあたり、これからも重要な役割を担うという決意を、ここに「100年宣言」というかたちで表明いたします。

当社はこれからも“世界の巡りを良くする”ために、さらに多くの安心を生み出してまいります。

■ サステナビリティ経営について

アルファグループは、ESGに関する課題に適切に対応するサステナビリティ経営を推進することで、事業リスクの最小化と事業機会の拡大を実践し、持続的な企業価値の向上を図ります。



ーを利用した

3 100周年記念ロゴマークを制定

100周年記念ロゴマークは、国内外のアルファグループ全社員とその家族を対象に社内公募を行い、社内投票及び審査を経て決定しました。

“1”はアルファのコア技術である鍵を、“00”を繋げることで無限大(∞)マークをモチーフにしました。伝統的な鍵の形を残しつつスタイリッシュに描くことで、創業時から変わらない品質の高さと、時代と暮らしの変化に合わせて変化してきたアルファの歴史を表しています。

また、無限大(∞)マークの中央に鍵穴をつけ、無限の可能性をアルファのコア技術である「鍵」で切り拓いていくという想いを込めています。ロゴマークを包む、有機的なアメーバ柄は、変化に柔軟に対応するアルファの姿勢を表現しています。

アメーバ柄のオレンジとピンクという温かい色合いで、ステークホルダーの方への感謝を表現しています。「幸せ」を想起させるカラーとしてピンクを、「活力」を想起させるカラーとしてオレンジを採用しています。



連結財務諸表

連結貸借対照表の要約

(単位 百万円)

	前期末 2022年3月31日現在	当期末 2023年3月31日現在
【資産の部】		
1 流動資産	30,527	35,371
2 固定資産	25,649	26,262
有形固定資産	18,923	19,408
無形固定資産	3,011	2,860
投資その他の資産	3,713	3,993
繰延資産	7	5
資産合計	56,183	61,639
【負債の部】		
3 流動負債	17,236	21,076
4 固定負債	11,022	9,894
負債合計	28,258	30,970
【純資産の部】		
株主資本	23,400	23,654
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,960	2,962
利益剰余金	18,247	18,484
自己株式	△567	△551
その他の包括利益累計額	3,362	5,913
非支配株主持分	1,161	1,101
5 純資産合計	27,924	30,669
負債純資産合計	56,183	61,639

1 流動資産

原材料等が16億82百万円増加、商品及び製品が5億81百万円増加、売掛金が11億8百万円増加したこと等により前期末に比べ48億44百万円増加し、353億71百万円となりました。

2 固定資産

建物及び構築物が6億87百万円増加、機械装置及び運搬具が5億19百万円増加したこと等により前期末に比べ6億13百万円増加し、262億62百万円となりました。

3 流動負債

短期借入金が19億78百万円増加、支払手形及び買掛金が9億51百万円増加したこと等により前期末に比べ38億40百万円増加し、210億76百万円となりました。

4 固定負債

長期借入金が3億80百万円減少したこと等により前期末に比べ11億28百万円減少し、98億94百万円となりました。

5 純資産合計

為替換算調整勘定が24億3百万円増加したことにより前期末に比べ27億45百万円増加し、306億69百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の47.6%から0.4ポイント改善し48.0%となりました。

6 売上高

自動車部品産業は、依然として半導体を始めとする部品調達不足による生産調整や、中国でのロックダウン等による減産、原材料価格やエネルギー価格の高止まり等、生産・販売側面で広範な影響が生じました。このような環境の中、セキュリティ機器事業も含め売上増加と円安等の影響により、売上高は前期比17.0%増の628億82百万円となりました。

7 営業利益

販管費の増加があったものの、売上高が増加したことにより、前期比2.4%増の6億1百万円となりました。

8 経常利益

為替差益の増加等により、前期比30.1%増の13億48百万円となりました。

9 親会社株主に帰属する当期純利益

減損損失の増加等により、前期比12.7%減の5億24百万円となりました。

10 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益が7億90百万円、減価償却費が36億61百万円の方、棚卸資産の増加額15億3百万円等により29億11百万円の収入となりました。

11 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出28億68百万円等により27億84百万円の支出となりました。

12 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金による収入33億50百万円、短期借入金による増加額16億77百万円の方、長期借入金の返済による支出37億26百万円等により62百万円の収入となりました。

連結損益計算書の要約

(単位 百万円)

	前期 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当期 2022年4月1日～ 2023年3月31日
6 売上高	53,767	62,882
売上原価	45,976	54,320
売上総利益	7,791	8,562
販売費及び一般管理費	7,205	7,961
7 営業利益	586	601
営業外収益	734	1,067
営業外費用	284	319
8 経常利益	1,036	1,348
特別利益	329	56
特別損失	474	614
税金等調整前当期純利益	891	790
法人税等合計	275	380
当期純利益	616	410
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	15	△114
9 親会社株主に帰属する当期純利益	600	524

連結キャッシュ・フロー計算書の要約

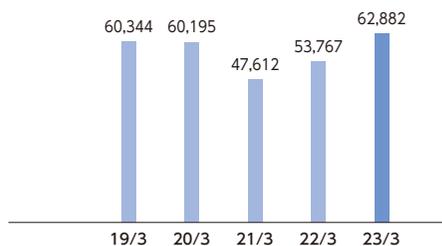
(単位 百万円)

	前期 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当期 2022年4月1日～ 2023年3月31日
10 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,874	2,911
11 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,650	△2,784
12 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,744	62
現金及び現金同等物に係わる換算差額	45	179
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,474	368
現金及び現金同等物の期首残高	7,820	6,345
現金及び現金同等物の期末残高	6,345	6,714

連結財務ハイライト

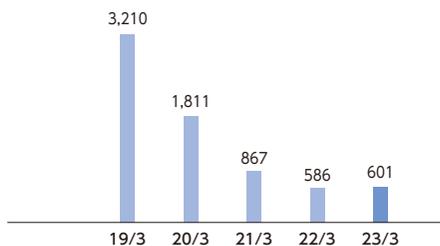
売上高

(百万円)



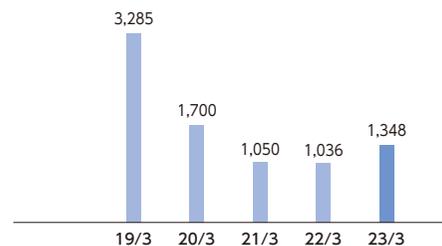
営業利益

(百万円)



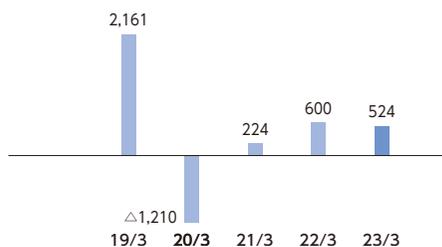
経常利益

(百万円)



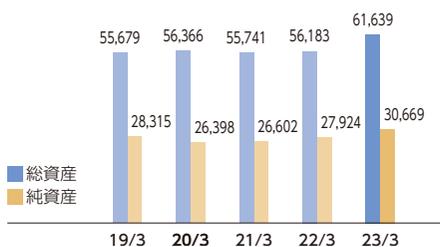
親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



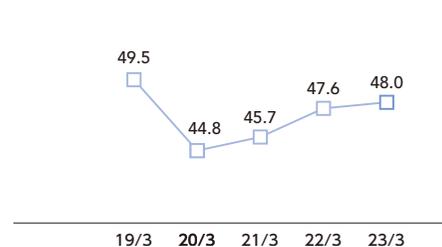
総資産・純資産

(百万円)



自己資本比率

(%)



連結セグメント情報

連結セグメント情報

(単位 百万円)

	自動車部品事業				セキュリティ機器事業		計	調整額 (セグメント間 取引消去)	連結損益計算書 計上額
	日本	北米	アジア	欧州	日本	海外			
売上高	6,996 (+24.6%)	12,133 (+16.8%)	17,072 (+4.6%)	11,101 (+12.2%)	13,318 (+31.9%)	2,261 (+56.3%)	62,882	—	62,882
営業利益	△5 (—)	△543 (—)	△2 (—)	△345 (—)	1,837 (+56.7%)	538 (+29.0%)	1,479	△ 878	601

()内は前期比増減率

自動車部品事業

- キーセット ● アウトサイドドアハンドル
- インサイドドアハンドル

セキュリティ機器事業

- 電気錠 ● 南京錠 ● 自動販売機用・産業機器用ロック
- コインロッカー ● 貴重品ロッカー ● 宅配ロッカー

事業別の概況



地域別の概況



※事業別、地域別の概況の営業利益は、調整額を含んでおりません。

会社情報 (2023年3月31日現在)

会社概要

社名	株式会社アルファ(英文社名 ALPHA Corporation)
創業	1923年4月14日
設立	1938年4月27日
資本金	27億6千万円
従業員数	407名(単体) 4,236名(連結)
主な事業内容	キー&ロックを中心とした自動車部品・住宅製品・コインロッカー製品の開発・製造・販売およびサービス・リース・オペレーション
生産拠点	群馬工場(館林市)

グループ (国内:3社/海外:17社)

日本リージョン	3社 (うち非連結子会社:1社)
北米リージョン	4社
中国リージョン	4社 (うち非連結子会社:1社)
ASEAN・インドリージョン	5社
欧州リージョン	4社

役員 (2023年6月23日現在)

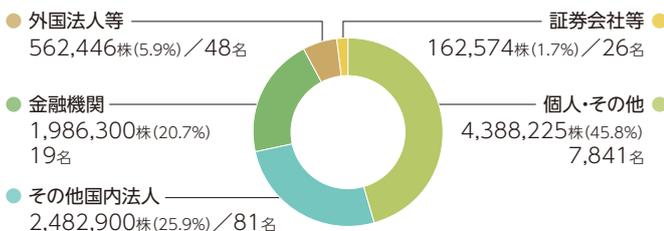
代表取締役社長	塚野 哲幸	取締役	上坂 こずえ
取締役副社長執行役員	斉藤 雄一	取締役	磯貝 和敏
取締役副社長執行役員	入澤 昭	常勤監査役	都築 邦康
取締役常務執行役員	山本 昌明	監査役	藤間 新
取締役常務執行役員	坂本 嘉章	監査役	瀧川 廣明

(注) 1. 取締役のうち、上坂こずえ氏、磯貝和敏氏の両氏は社外取締役であります。
2. 監査役のうち、藤間新氏、瀧川廣明氏の両氏は社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	40,800,000株
発行済株式総数	10,200,000株
株主数	8,015名

株式分布状況



(注) 当社は自己株式を617,555株保有しておりますが、上記では自己株式を控除して計算しております。

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ハイレックスコーポレーション	1,710	17.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	458	4.78
日産東京販売ホールディングス株式会社	379	3.95
株式会社三井住友銀行	277	2.89
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	249	2.59
アルファ従業員持株会	238	2.49
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	237	2.47
遠藤 宏	172	1.79
株式会社みずほ銀行	160	1.66
株式会社りそな銀行	160	1.66

(注) 当社は自己株式を617,555株保有しておりますが、上記大株主(上位10社)から除外し、持株比率は自己株式を控除して計算しております。



本株主通信は、環境保全のため再生紙を使用し、「植物油インキ」で印刷しています。

株主優待制度について

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資の魅力を高めることを目的として、株主優待制度を導入しております。

対象

毎年3月末日の株主名簿に記録された3単元(300株)以上の株式を保有していただいている株主の皆さまを対象とします。

ご優待内容

所有株式数に応じて、以下の優待内容をお届けします。

所有株式数	贈呈内容
300株以上	3,000円相当 左記金額相当のギフトカタログの中から、ご希望商品を1点贈呈いたします。
500株以上	5,000円相当
1,000株以上	10,000円相当



▼詳しくは、以下のURLをご参照ください。

<https://www.kk-alpha.com/ir/benefit.html>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.kk-alpha.com (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL: 0120-232-711(通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(注) 1. 証券会社等の口座に記録された株式に関するお問い合わせにつきましては、お取引のある証券会社等にお問い合わせください。
2. 未払い配当金につきましては、当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお支払いの手続きをいたします。
3. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。



株式会社アルファ

〒236-0004
神奈川県横浜市金沢区福浦一丁目6番8号

IRに関するお問い合わせ

Tel 045-787-8401 Mail ir@kk-alpha.co.jp

<https://www.kk-alpha.com> ● 当社HPもあわせてご覧ください